

世界へと 視野を広げる 「鍵」を、キミに。

2023
年度生
募集

経団連 グローバル人材育成 スカラシップ (経団連グローバル奨学金)

将来、グローバルなビジネス領域において活躍する意志を持った学生を対象として奨学生を募集します。海外留学を通じて培った力をグローバル・ビジネスの世界で活かし、日本経済の活力向上に貢献したいと考えている、チャレンジ精神に富んだ皆さんの応募をお待ちしています。特に、過去に一度も海外経験がなく、初めて海外に出て自分の力を試してみたいと思っている方、様々な専門領域で勉学に励んでいる方、スポーツやボランティア活動に熱心な方など幅広い応募を歓迎します。

募集人数

20名

支給内容

一人200万円の奨学金を支給

※使途は限定せず、留学中に自己研鑽や見聞を広め多様な経験を積むための資金とする。

奨学金を受けて留学する学生へのサポート

- 1 渡航前に、課題共有会を開催し、各自の留学に向けた課題を共有
- 2 SNS等を活用して、留学準備を支援。留学中は、現地での生活や大学での学業等について報告を受けるとともに、必要に応じて財団事務局が留学中の生活に関する助言を行う他、関連情報を提供
- 3 帰国後、合同就職説明会・面接会(経団連グローバルキャリア・ミーティング、来年夏開催予定)に優先的に案内



課題共有会(2019年度開催)の様子

2022年度奨学生を対象とした課題共有会(オンライン)の様様

課題共有会では、まず事務局より、2022年度奨学生(11期生)への助言や支援活動の内容、課題レポートのテーマや提出時期・方法、留学に向けた心得などについて説明した後、本スカラシップの先輩スカラ(1期生・2期生・4期生)から、自身の留学成果や留学中の印象深いエピソード、スカラシップの使用用途、留学後の就職・キャリア等についてパネルディスカッション形式で紹介がありました。その後11期生は、留学前後の課題や自身の留学がキャリアにどうつながるかなどについて、複数のグループに分かれて活発に意見を交わし、先輩スカラからアドバイスをもらいました。

先輩スカラからのメッセージ



日本代表として日本を伝え、留学先からは成長できる学びを持ち帰る

「自分は日本代表だ」という意識を持ち、留学前は日本の政治や文化の知識をある程度身につけておくとういでしょう。そして、留学先では自分が成長できる環境に積極的に飛び込み、日本のことを多くの人に知ってもらって、現地からはたくさんの「ネタ」=学びを持って帰ってきてください。その中で感じたことを記録して奨学生同士でシェアし合うと、頭の整理にもなり、自分の活動のモチベーションにもつながります。



母国語以外で人と分かり合う経験が、いつか自分の宝になる

帰国直後は、ビジネスレベルの英語力が身についたことを成果と感じていましたが、社会人になって振り返ってみると、言葉の通じない人と共に問題解決する経験を積んだことが一番の成果でした。経験によって、言葉は重みを増し、人からも厚い信頼を得られます。同時に、自分は何がしたいのか、相対的に自分はどういう人間なのかに気づくためにも、課外活動などを利用して周りの人と積極的に関わりをもつようにつけてください。

Message

応募資格

応募資格の各項目については、下記URLにアクセスし、詳細をご確認の上、ご応募ください。

募集対象校

北海道大学、東北大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京海洋大学、東京藝術大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、一橋大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、新潟大学、信州大学、静岡大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、金沢大学、京都大学、京都工芸繊維大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、九州大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、宮城大学、国際教養大学、東京都立大学、大阪公立大学、北九州市立大学、国際大学、学習院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、聖路加国際大学、中央大学、東海大学、東洋大学、日本女子大学、法政大学、武蔵大学、明治大学、早稲田大学、立教大学、創価大学、中京大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学、関西学院大学、神戸学院大学、福岡大学、立命館アジア太平洋大学 以上63校(2022年3月25日時点)

応募方法および選考方法

(1) 下記URLにアクセスし「応募登録」ボタンより、必要事項を入力し、応募の登録を行ってください。

応募受付期間：2022年7月14日(木)～9月13日(火)

URL：<https://idc.disc.co.jp/keidanren/scholarship/>

(2) 10月上旬の書類選考(第一次選考)と11月下旬の面接(第二次選考)により、選考いたします。



事業実施主体

(公財)経団連国際教育交流財団

運営協力

(株)ディスコ

詳細・申し込みはこちら

URL：<https://idc.disc.co.jp/keidanren/scholarship/>



2023 年度 経団連グローバル人材育成スカラーシップ 奨学生募集要項

2022 年 4 月

公益財団法人 経団連国際教育交流財団

(一社)日本経済団体連合会(以下、経団連)が協力して運営している(公財)経団連国際教育交流財団¹では、将来、グローバルなビジネス領域で活躍する意志を持つ学生を対象とした「経団連グローバル人材育成スカラーシップ」の奨学生を募集します。

1. 応募資格

- (1) 日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者
- (2) 応募時に、財団の指定する日本の大学²の学部2年、3年、4年生³または、大学院博士前期課程(修士課程)1、2年生の学生
- (3) 交換留学、認定校留学、協定校留学、私費留学等で、2023年度中(2023年4月～2024年3月)に留学を開始し⁴、海外の大学・大学院に約1年間(8ヵ月以上1年未満)留学する者。ただし、理工系専攻者については、6ヵ月以上1年未満の期間、海外の大学等の研究室で研究する者や海外の大学の講義等を受講する者も応募可
- (4) 留学を通じて、外国語によるコミュニケーション能力、異文化・社会への適応能力、リーダーシップ、海外へのチャレンジ精神などを向上させる意欲があり、**将来、グローバルなビジネス領域で活躍する意志を持つ者**
- (5) 大学入学後に取得した単位のGPAが2.0以上である者⁵
- (6) 海外留学にあたって他の奨学金を受ける予定のない者(併願は可)

2. 奨学金の支給内容

留学期間の奨学金として、一人200万円を支給(留学先大学からの受入決定後に一括支給)。使途は限定せず、留学中に自己研鑽や見聞を広め多様な経験を積むための資金とする。

3. 採用人数 20名

4. 応募方法

奨学生への応募を希望する学生は、下記 URL よりインターネット上の応募シートに必要な情報を登録する

応募受付期間：2022年7月14日（木）～9月13日（火）

URL <https://idc.disc.co.jp/keidanren/scholarship/>

5. 選考方法・スケジュール、および提出書類

(1) 第一次選考（書類選考）

提出された応募シートの記載内容に基づき、書類選考を実施

第一次選考の可否は、10月中下旬に、電子メールにて通知

(2) 第一次選考合格者の必要書類の提出

第一次選考合格者は、11月上旬までに下記の書類を郵送にて提出すること

（書類の提出期限については、第一次選考の可否通知の際に連絡）。期限までに提出できない場合は、原則として第二次選考の受験資格を失う。

- ① **願書**（10月中下旬に書類選考合格者に所定の願書書式を事務局より送付）
- ② **大学、大学院の学業成績証明書**（大学入学以降現在までの全ての成績を含むもの）
- ③ **学部長、学科長、研究科長、指導教官のいずれかによる推薦状**（1通）
* 日本語、A4版片面、横書きで1枚以内
- ④ **英語検定試験（TOEFL または IELTS）の顔写真入り成績証明書の写し**（2年以内に受験した試験の成績証明書に限る。TOEFL ITP の場合は、顔写真入りでなくても可）

<注>要件は、TOEFL iBT 61 点（MyBest スコアでも可）（ITP 500 点）または IELTS 5.0 点

(3) 第二次選考（個人面接）

- ① 日時：2022年11月29日（火）（1日程のみ）
 - ② 場所：経団連会館（東京都千代田区大手町1-3-2）
（詳細は、第一次選考合格者に11月上旬、事務局より電話で通知）
 - ③ 選考結果：個人面接の結果は、12月中旬までに電子メールで通知
- ※ 通知後、2週間以内に奨学金を受給する旨の返信および「奨学金振込みのための銀行口座情報を送付すること

(4) 最終合格に向けた必要書類の提出（2023年1月以降、郵送にて提出）

- ① 誓約書
- ② 留学先大学・大学院の入学（受入）許可書の写し

(5) 最終合格

(4)の必要書類が全て提出された段階で最終合格となり、正式に奨学生として採用する（提出期間内に提出できない書類がある場合は不合格）

6. 選考の際に重視するポイント

人物および、将来のキャリアに関する志望（グローバルなビジネス領域においてどのように活躍したいと考えているか、等）

7. その他（奨学金を受けて留学する学生への支援）

(1) 留学前・留学中の助言・支援

- ① SNS等を活用して留学準備を支援するほか、留学中は、現地での生活や大学での学業等について報告を受けるとともに、関連情報の提供や助言を行う。
- ② 留学開始前に課題共有会を開催し、奨学生間の交流を図るとともに、各自の課題を把握し、留学中の学習内容・経験がより充実したものとなるよう指導・助言する（遠方からの参加者には交通費を支給）。

(2) 帰国後の7月上旬頃に開催する合同就職説明会「経団連グローバルキャリア・ミーティング」へ優先的に案内（ただし、大学または大学院修士課程最終学年の者に限る）

【奨学生の応募・選考に関するお問い合わせ先】

経団連グローバルスカラーシップ事務局

TEL (03)6361-2792（平日 9:30～17:30）

E-Mail: keidanren@disc.co.jp

¹ 経団連第二代会長の故石坂泰三氏の業績を顕彰し、教育面における国際交流を通じて、わが国と諸外国との相互理解を促進することを目的に 1976 年に設立された財団

² [募集対象校一覧]

北海道大学、東北大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京海洋大学、東京藝術大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、一橋大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、新潟大学、信州大学、静岡大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、金沢大学、京都大学、京都工芸繊維大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、九州大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、
宮城大学、国際教養大学、東京都立大学、大阪公立大学、北九州市立大学、
国際大学、学習院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、
聖路加国際大学、中央大学、東海大学、東洋大学、日本女子大学、法政大学、武蔵大学、
明治大学、早稲田大学、立教大学、創価大学、中京大学、京都産業大学、同志社大学、
立命館大学、関西学院大学、神戸学院大学、福岡大学、立命館アジア太平洋大学

以上 63 校

³ 学部が 4 年制の場合は、卒業、留年あるいは修士課程への進学いずれも可。学部が 6 年制の場合は、4、5、6 年生を対象とする。

^{4 i} 留学先大学の講義、研究室における研究開始日をもって留学開始時とする。

^{4 ii} 留学先の検討にあたっては、留学開始が原則 2023 年 4 月～2024 年 3 月となるよう、各国の学期制を確認し、計画をたてること。なお、留学先の学年暦の都合により開始が上記期間外となる場合は事前に事務局まで連絡のこと。

⁵ 大学入学後に取得した単位の GPA が 2.0 以上であること。以下の方法で計算すること。
(成績が 100 点法の場合には 5 段階評価を用いて計算すること)

成績評価 (ポイント)					
4 段階評価	—	優・A 100～80 = 4.0	良・B 79～70 = 3.0	可・C 69～60 = 2.0	不可・D/ F 59 以下 = 0
5 段階評価	100～90 = 4.0	89～80 = 3.0	79～70 = 2.0	69～60 = 1.0	59 以下 = 0
5 段階評価	S = 4.0	A = 3.0	B = 2.0	C = 1.0	F = 0
5 段階評価	A = 4.0	B = 3.0	C = 2.0	D = 1.0	F = 0

$$GPA = \frac{(\text{**科目のポイント数} \times \text{科目の単位数}) + (\text{**科目のポイント数} \times \text{科目の単位数}) + \dots}{\text{総単位数}}$$

以 上